



オンライン配信

Zoomを用いたWeb形式です

2025 **8.1** (金)
19:00-20:15

参加費無料・定員500名

講演1

当院の PRP療法を用いた 治療戦略について

演者 **畠山 昌久先生** 畠山整形外科スポーツクリニック 院長

講演2

地域医療と 集束型 体外衝撃波治療 ～地域に根ざした治療戦略の一つとして～

演者 **中澤 良太先生** 加納岩総合病院 院長

座長

米川 正悟先生

東京城南整形外科 院長



PROFILE

- ・順天堂大学医学部
- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本スポーツ協会スポーツドクター

演者

畠山 昌久先生

畠山整形外科スポーツクリニック
院長



PROFILE

- ・産業医科大学医学部卒
- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会員
- ・日本スポーツ協会認定医
- ・日本股関節学会会員

演者

中澤 良太先生

加納岩総合病院 院長



PROFILE

- ・日本大学医学部卒
- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本整形外科学会認定リハビリテーション医
- ・日本スポーツ協会公認スポーツドクター

共催

CBC株式会社

〒104-0052 東京都中央区月島2-15-13
TEL/03-3536-4610 FAX/03-3536-4743

京セラ株式会社 メディカル事業部

〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
<https://www.kyocera.co.jp/prdct/medical/>

© 2025 KYOCERA Corporation

二次元バーコードからお申し込みください。

セミナーお申し込みページ

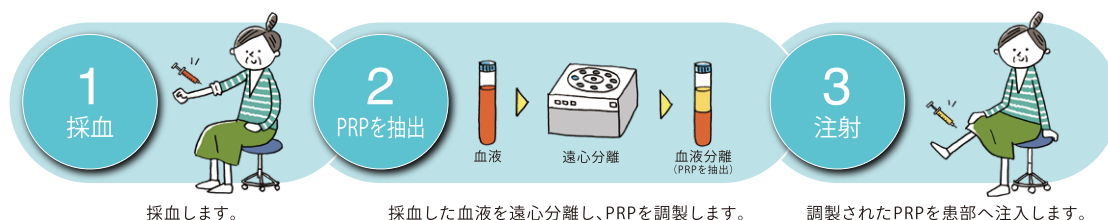
https://kyocera.zoom.us/webinar/register/WN_TRgRHDQPSBycdaoX0Uo-Mg#/registration



PRP療法 (Platelet-Rich Plasma療法) とは？

PRP療法とは、患者様ご自身の血液から血小板を多く含む成分 (PRP) を抽出し、患部に注入することで組織の修復や再生を促す治療法です。血小板には、**成長因子 (グロースファクター)** と呼ばれる修復を促進するタンパク質が多く含まれており、慢性疼痛や組織損傷の治療に応用されています。整形外科領域では、変形性膝関節症や腱付着部炎、スポーツ外傷などに対して注目されており、再生医療の一種として今後の展開が期待される治療法です。

《PRP療法の流れ》



京セラのPRPキット「Condensia」は、一般的な遠心分離機で導入が可能で、PRP濃度、白血球量の調整ができることが特徴です。

体外衝撃波疼痛治療とは

体外衝撃波疼痛治療は、1990年代のヨーロッパで結石破碎技術を応用して研究が始まり、足底腱膜炎への非侵襲的治療が行われるようになりました。体表面から体内の決めた部位でエネルギーを集束させて衝撃波を発生させる装置を集束型体外衝撃波といい、集束型体外衝撃波のみが体外衝撃波疼痛治療装置に該当します。

本邦では2008年に医療機器としての承認が下り、2012年から「難治性足底腱膜炎」に対する保険診療が可能となりました。

体外衝撃波疼痛治療は、正確に病変部に衝撃波を照射することが重要です。超音波画像等で病変を確認し、皮膚から病変部までの深度を計測し、焦点深度を病変部位に合わせて衝撃波を照射します。衝撃波を発生させるハンドピース毎に、エネルギー束密度や焦点深度に違いがあり、耐用ショット数も異なります。

